

公益財団法人 日本卓球協会 2019年度 第3回理事会 報告

【日時】

2019年12月14日(土) 13:00 ~ 16:18

【場所】

東京・あいおい損保新宿ビル・3F・B&C会議室

◎決議事項

第1号議案 専務理事提案 (星野専務理事)

①ガバナンスコードの対応について 承認

たたき台については次回理事会に改めて提案を行う。

②JTTA 中長期事業計画策定について 承認

JTTA 中長期事業計画策定にあたり付加的な作業としてWEBリサーチを実施する。引き続き多くの方々にヒアリングを行い、中長期事業計画策定を進める。

③全日本選手権大会開催地について 承認

2022年度以降の全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)について、定期的な西日本での開催は断念する。

第2号議案 財務部提案 (安西常務理事)

①2019年度第三次補正予算について 承認

三次補正予算は、経常収益合計1,927,229千円、経常費用合計2,060,309千円、当期経常増減額が▲133,080千円の赤字となり、二次補正予算から6,533千円の赤字増加である。

第3号議案 事業部提案 (金崎常務理事)

①2020年度大会について 承認

・大会申込締切日は、60日前をベースとした。全日本クラブ、全日本団体は短い。

・2020年度全国大会開催地・日程への追記と前回通知からの変更部

No.14 全国レディース大会 開催期間 12/11~13 場所 都城市早水公園体育文化センター
申込締切日 10月13日(火)

No.29 全国ホープス大会ブロック大会(南日本ホープス) 開催期日 6/26-28

②2020年度大会要項について 承認

(1)大会共通の改正

1) 大会要項のユニホームについての記述を統一する。

2) 申込方法の記述改正

大会申込システムに対応した記述とする。

3) 申込締め切りの記述改正

大会申込システムに対応した記述とする。

4) 外国籍選手参加資格の記述改正(マスターズ、社会人、クラブ、一般・ジュニア、全日本ラージ) 3年、10年は、申込時点までを指すことを明記する。

(2)ラージボール大会関係

1) 全日本ラージボール卓球選手権大会・全国ラージボール卓球大会共通関係 参加資格①から「当該都道県に居住または勤務している者で」を削除する。

2) 全日本ラージボール卓球選手権大会

無条件参加選手の記述で、混合ダブルスのペアを解消した場合を明記する。

(3)全国レディース卓球大会

1) 参加資格(団体戦)の記述改正

団体戦の監督・コーチは、申込チームに登録している役職者とする。

(4)全日本クラブ卓球選手権大会

1) 参加資格の記述改正

前年度ランキングチームがそのランキング種目への参加無効条件を追記する。

(5)全日本卓球選手権大会(団体の部)

1) 参加資格の記述改正

大会出場メンバー2名以上の申込について明記する。

2) その他検討事項

上記2名が出場出来ない場合の扱いについて検討した。

(6)全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)

1) 参加資格の文言追記

種目ごとに出場地が選択できることを追記し、返信用封筒部を太字とした。

(7) 推薦出場について

- 1) 大会開催期日の関係で、全日本社会人卓球選手権大会(申込締切 9/14)に、全日本クラブ卓球選手権大会(9/19~22)、全国教職員卓球選手権大会(12/26~29)からの推薦出場選出はない。

③ 全日本ホカバ参加枠について 承認

小学生登録数の上位都道府県から区分する。ここにランキング、特別推薦枠、登録増加枠を加えた人数が参加者数となる。特別推薦枠が廃止となれば増枠を検討する。

- ① 区分 1: 2019 年度小学生登録人員上位 1 加盟団体と開催地(2 都道府県) … 8 名
② 区分 2: 2019 年度小学生登録人員 2~4 位加盟団体(3 都道府県) … 6 名
③ 区分 3: 2019 年度小学生登録人員 5~8 位加盟団体(4 都道府県) … 5 名
④ 区分 4: 2019 年度小学生登録人員 9~16 位加盟団体(8 都道府県) … 4 名
⑤ 区分 5: 2019 年度小学生登録人員 17~32 位加盟団体(16 都道府県) … 3 名
⑥ 区分 6: 2019 年度小学生登録人員 33~47 位加盟団体(14 都道府県) … 2 名

④ 2020 年度主管費について 承認

- (1) 消費税増税に係る主管費増大会

全日本リーグ、全日本実業団、全日本ホカバ、全国レディース、全国ホープス、全日本社会人

- (2) 空調費増大会(仮設経費含む)… 本会指定大会は、主管費を 30 万円増額する。

2020 年度 … 6 大会(6 月~9 月開催大会)

全日本リーグ(6 月)、全国リーグ(7 月)、全日本ホカバ(7 月)、全国ホープス(8 月)、全日本実業団(9 月)、全日本クラブ(9 月)

⑤ 基本規程・役職者(名称)について 承認

仮称となっていた基本規程・役職者(名称)を「役職者」とする。

それに伴い 2020 年度大会要項の「役員章」文言を「役職者章」に変更する。

⑥ 段位申請について 承認

現状通りの「登録地の協会(連盟)を通じて申請する」とする。

⑦ 2021 年度大会日程について 承認

2020 年度第 2 回理事会が 9 月 26 日(予定)と例年よりも遅いため、第 2 回運営会議後に一旦送付し、第 2 回理事会承認後に改めて送付しなおす。

第 4 号議案 総務部提案 (松尾常務理事)

① 基本規程第 2 章倫理違反事例への対応について 承認

本協会登録者である選手について、以下の決議を行なった。

- ・ JTTA 基本規程 第 2 章 倫理 第 8 条(信頼の確保と責任)の違反が認められる。
- ・ JTTA 基本規程 第 11 章 処分 第 124 条(3)に従い、「指導」(書面による注意)の処分を科す。

② 基本規程の修正について 承認

基本規程第 52 条に表現上の誤り(重複)があったため修正する。文意に変更はない。

第 5 号議案 強化部提案 (宮崎常務理事)

① エリートアカデミー第 13 期生推薦について 承認

エリートアカデミー第 13 期生に、松島輝空選手(木下グループ)を推薦する。

第 6 号議案 国際部提案 (星野専務理事)

① 国際卓球連盟総会提案事項について 承認

1. WR の方式変更
2. サービスルールの変更

第 7 号議案 ルール・審判部提案 (柳原常務理事)

① 基本規程改訂に伴う日本卓球ルール改定について 承認

JTTA 基本規程、倫理委員会、アンチ・ドーピング規程の関連諸規程との整合性を合わせたもので、本質的な変更ではない。

公布年月日 2020 年 1 月 1 日

改定年月日 2020 年 4 月 1 日

◎報告事項

1. 専務理事報告（星野専務理事）

①組織強化に関わるスポーツ庁委託事業中間報告

5加盟団体から参加申請があった。120名を越える支援事業参加応募者から6名の若手卓球経験者を採用した。各加盟団体のニーズに応じたIT関連の支援を、スポーツ庁報告を含め2020年3月まで行う。

②第38回全日本クラブ選手権大会での対応について

台風19号の進路から「災害時大会中止基準内規」に則り、本会事務局、事業部長、総務部長、専務理事、主管地である福島県と協議し、大会会長代理、大会委員長、審判長にも報告の上、競技方法やタイムテーブルを変更して大会を開催した。予想を超えた規模の台風であり、次回以降の教訓とすべく慎重に対応した。主管地の役員で被災された方々があった中、大会を終了できたことに、改めて主管地の福島県卓球協会、傘下の協会、連盟のみなさんに感謝申し上げたい。

③JOC加盟団体会長会議報告

11月26日にJOCによる加盟団体会長会議が開催され、スポーツ団体ガバナンスコードの説明のほか、意見交換等を行った。各NFは「GC適合性審査」を4年に1度受け、「自己説明及び公表」を毎年行うことが求められている。

2. 財務部報告（安西常務理事）

①2019年度中間決算報告

●中間監査報告（嘉本監事）

3. 事業部報告（金崎常務理事）

①2020年全日本（ホバ・カデット・一般ジュニア）大会使用球

全日本（ホバ・カデット・一般ジュニア）	(株)VICTAS
全日本（カデットの部）	日本卓球(株)
全日本（一般・ジュニアの部）	(株)タマス

②国体ふるさと制度について

日本スポーツ協会からアンケートが届いた。本会は賛成として回答する。

③事業検討チーム報告（審議中間報告）

日学連加盟選手の全日本卓球選手権大会予選会参加資格（出身高校所在地から出場）は当面現行の通りとし将来再検討する。一定の制限を設けることについてご意見をお寄せいただき検討を行いたい。

4. 強化本部報告（宮崎常務理事）

①オリンピック関連補足説明について

②オリンピック代表候補選手記者会見について（2020年1月6日予定）

③世界選手権釜山大会代表選手記者会見について（2020年1月24日予定）

④世界ジュニア選手権大会結果について（タイ・コラート：11/24～12/1）

当大会で日本は女子シングルス、女子ダブルス、混合ダブルスで初優勝し、日本は過去の記録を含め、全7種目を優勝したことになる。

5. 国際部報告（星野専務理事）

①アジア選手権大会報告

1. 国際大会の開催地の件

2020年アジアカップ（中国：2月28日～3月1日）＊都市は未定。

2020年アジアジュニア・カデット選手権（ラオス）＊都市・日程は未定。

東京2020アジア大陸予選会（タイ・バンコク：4月6日～12日）

2021年アジア選手権大会（中国）＊都市・日程は未定。

2. 理事・委員会委員の決定：任期2019-2021の2年間

理事：横田 幸子 氏（継続）

用具委員会：長谷川 敦司 氏（フルメンバー・継続）

ジュニア・コーチング委員会：横田 幸子 氏（委員長・継続）

3. その他

・数加盟協会から、詳細な財務資料を次回の総会に出すよう強い要請が出た。

・ATTU理事数は、2022年から協会総数44の50%の22名となる。

・東京2020オリンピックアジア大陸予選会のアジア枠6つの内、各地域に1枠、残り1枠を地域予選会に出た選手の中でオリンピックランキングが最も上位の選手に資格が与えられる。

・ITTFの代理人について、ATTU総会へ参加の役員1名/協会に国際エアー代+ホスピタリティーが与えられる。

・2018年、2019年のアジアカップ（神奈川）が表彰を受け、神奈川県卓球協会と横浜市民局に訪問し報告を行った。

6. 事務局より（事務局長）

①業務執行理事執行状況報告書

②事務局報告

(1)今後の会議等予定

- (2) 令和元年秋の叙勲・褒章・文部科学大臣表彰について
叙勲 瑞宝双光章 青木 博美 氏 (徳島県卓球協会・顧問)
瑞宝小綬章 三浦 繁則 氏 (山形県卓球協会・名誉会長)
文部科学大臣表彰
生涯スポーツ功労者表彰 小林 秀行 氏 (神奈川県卓球協会・副会長)
生涯スポーツ功労者表彰 青木 薫 氏 (栃木県卓球連盟・副会長)
- (3) 会合出席報告
(4) その他

以上